

通政新場の形よて英化は加増をされ九
多勢に無勢なれハ弁寛を始三百余人寺
を又大將英化小関嘉成出ツ木城を解
渡一隊人となる。古沢五百川亦英化ハ飲
なり一とを要ハ羽原記は見ヘリ。け付の
合戦は英光の持あつ。持ハ上牧英ハ嘉勝
の持れ一持とを言上家一隊りて移。山形
少將英光と嘉勝を以て入あひる孫の月
黒量の人あつ。バ持れより一とて移。入
あひるりとを渡家ハ移るるや

一天童城

山形の水よて歌強なり。續左平記才一
巻は見ヘリ。天童丸の小田中細玄成の末より移。城
ハ一とや。出羽守成時代ハ一色源理成と
いふ人当城より羽原記を見。には人英
光の父英忠の縁者として。館の大將なり
として。西目と号一。は教を考れハ一巻ハ
天童丸の末より。英光一
志。このり。と嘉成ハ延氏能光として。右氏あり
と嘉成。源氏伊賀。是を移。と成。ハ延氏英光
一。隆永後ハ源氏。是。源氏を百連。仙臺。一。移